

ごみ処理の現状と現計画の進捗状況

1. ごみ量の実績

① ごみ排出量・発生原単位

ごみ総排出量及び1人1日あたりごみ総排出量は減少傾向にあります。

しかし、その内訳を見ると、ごみの中で最も多くの割合を占める可燃ごみはわずかに減少傾向にあるものの、ほぼ横ばいです。

ごみ総排出量が減少しているのは、古紙類などが集団回収から民間の資源回収に移動し、市で把握することの出来る資源化量が減少したことが要因であると考えられます。

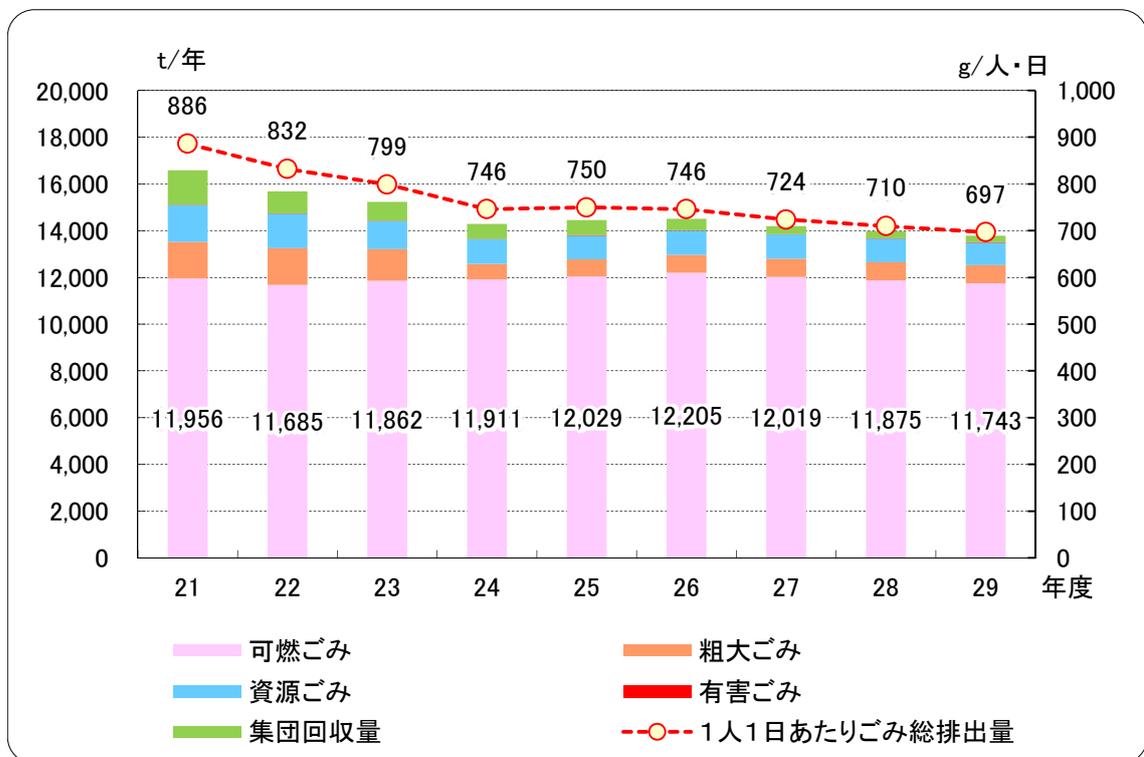


図 1-1 ごみ排出量と発生原単位

※ 1人1日あたりごみ総排出量：1人が1日に出す、全てのごみの量

② 資源化量・リサイクル率

資源ごみ収集量、集団回収量の減少に伴い、リサイクル率も減少しています。

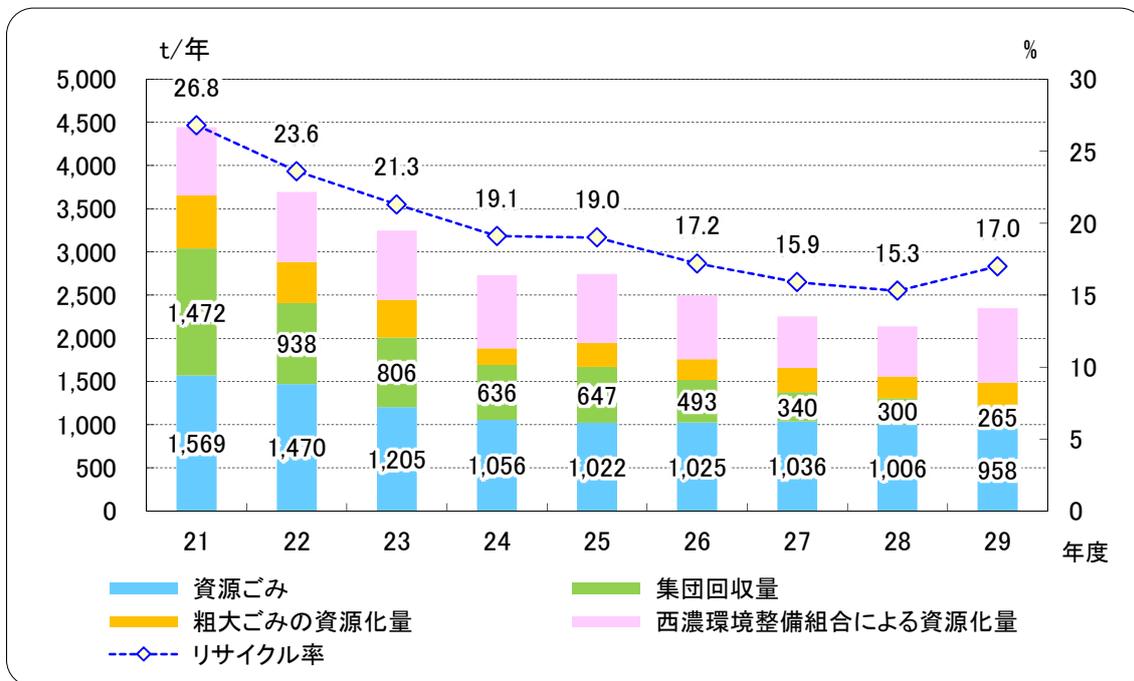


図 1-2 資源化量とリサイクル率

③ 最終処分量・最終処分率

最終処分量の増減は、西濃環境整備組合で処理を行う焼却処理後の最終処分量が大きく影響しています。

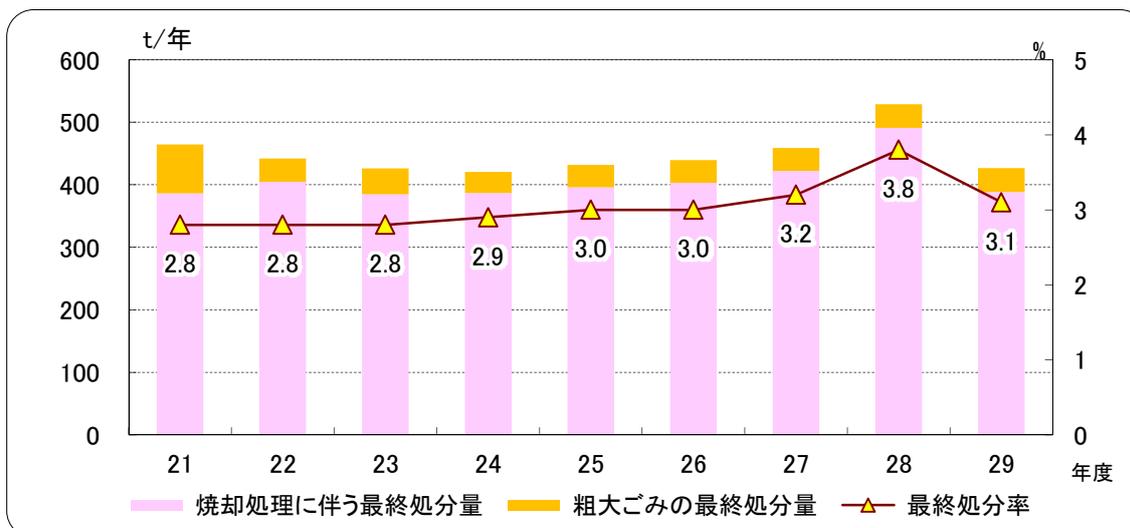


図 1-3 最終処分量と最終処分率

2. 現計画の目標値

現計画に示された目標値と実績は、以下に示すとおりです。

① 1人1日あたりごみ総排出量

1人1日あたりごみ総排出量の目標値と実績は以下に示すとおりであり、目標値を満足しています。

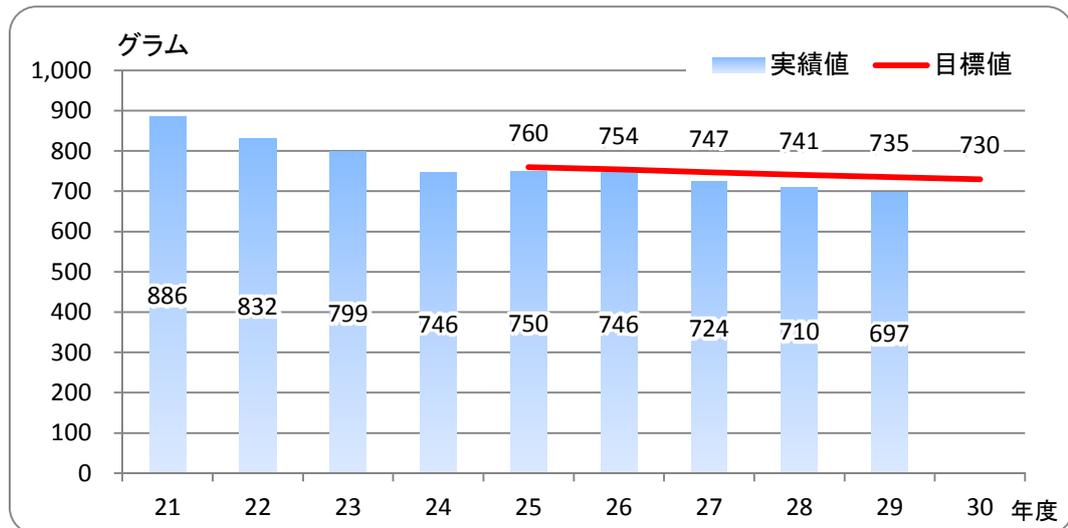


図 2-1 1人1日あたりごみ総排出量の実績と目標値

② リサイクル率

リサイクル率の目標値と実績は、以下に示すとおりであり、目標値に反して減少しています。

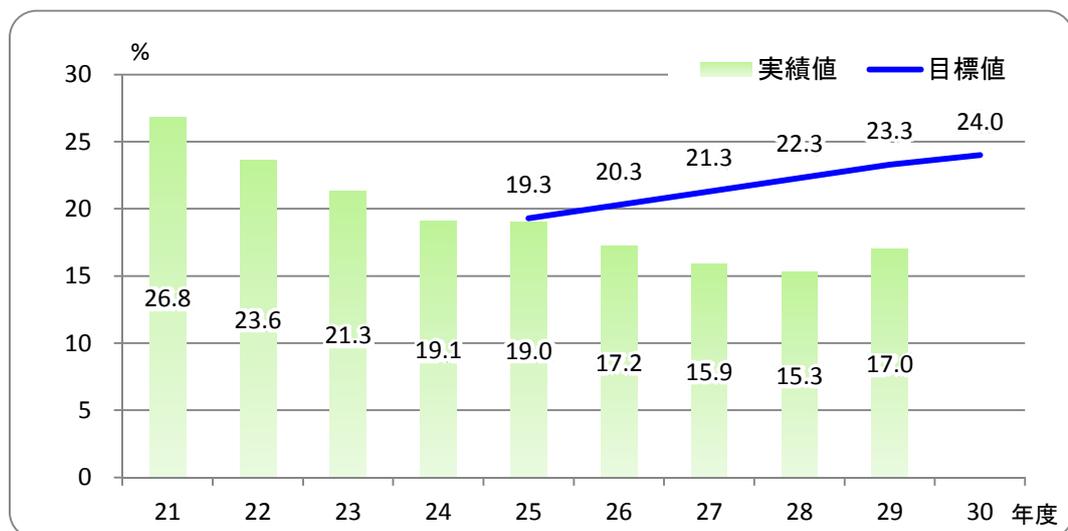


図 2-2 リサイクル率の実績と目標値